

- SDGs経営は特別なことではなく、「人間が豊かに生活する基本」と捉えている。
- 新しいことを始めようと気負わず、今の延長線上に目標を定め、「無理せず、よりよいものを作り続ける」という意識で取り組む。
- SDGs経営により、当社の高い技術力を支える**社員の健康や成長をサポートする**。

○SDGs経営への取組経緯

・県教育委員会の委員として教員の勤務環境について考えていたことも契機となり、**社員のワークライフバランスに向けた取組はSDGs経営に繋がると**思料。

・取引先の調達ガイドラインにおいて、特定有害物質の使用制限に関するRoHS指令への対応や**紛争地域からの調達有無等**については定期的な調査がきており、**今後はSDGs経営についても問われることが予見された**。

・取引金融機関からの提案もあり、「**金融機関×四国経済産業局×保険会社**」で構成されたSDGs経営勉強会に参加。宣言まで継続的に個別支援も受けられることも後押しとなり、取引金融機関に支援を依頼し宣言書の作成に着手。

○社内での取組体制

・当社の事業規模から、組織立てて動くよりもトップダウンの方が取り組みやすいと判断。事業承継に向けた準備を進めていたことから、後継者も含めた経営者層を中心に着手。取引金融機関の支援も受けながら、**先に作成していた事業承継計画を元**に目指すべき方向性を検討し、**開始から約一年**をかけて宣言を実施。

・宣言後、全体朝礼や部門別の終礼を通して、社員への浸透を図っている。取組を始めて日は浅いが、ゴミの分別等の**身近なところから少しずつ意識の変化がみられるようになってきた**。



○SDGs宣言における当社の取組

【環境】



・取引金融機関の紹介による、**県の二酸化炭素（CO2）排出量削減専門家派遣事業**を活用しCO2排出量を算定。「CO2排出量30%削減」に向け、短期目線では**LED照明や高効率機器の導入等**、中期目線では**太陽光パネルの設置**を検討。

・**新分野への参入**に向け、**新工場を建設中**。環境配慮型商品の開発等を通して、付加価値の向上を目指す。

【職場】



・通勤時間の短縮に向け、近隣地区からの採用を強化。地元高校とも連携し、**インターンシップによる学びの場を提供**。

・人材育成にも力を入れており、資格取得や自己啓発によるスキルアップを奨励しており、**講習費用や受験費用を負担**。

・**申請による複（副）業も認めており**、各自のスキルを活かした社外での活動機会を創出。

【健康】



・社員の多能化や業務の効率化（動作改善）を推進し、残業時間の短縮、有休休暇の積極的な取得を推進。新たに設けた「**生産効率手当（業務効率化に向けた取組を社長が評価）**」は好評で、社員の行動変化や残業削減に向けた意識改革に繋がっている。

【社会】



・品質管理マニュアルを制定し、不良報告体制を整備。次の段階として、製造マニュアルも作成中。

・スポーツイベントへの寄付等を通じて、地域社会の活性化にも取り組んでいる。

○SDGs経営への取組を経て

・SDGs宣言を行うことで、**顧客や社会に対して自社の目指す方向性を「見える化」**することができた。これにより、社員が健康で、仮に体調を崩しても**長く働ける職場づくり**を意識することに繋がった。

・SDGs経営に真剣に向き合うことで、当社を含め製造業におけるカーボンニュートラルや脱炭素への取組の重大性が十分に理解できた。



【新分野への参入に向けて工場新設】

○会社概要

【本社】香川県観音寺市室本町535番地3
一部上場企業を始め大小取引先を有し、設計からマシニングセンターによる金属製品（鉄・ステンレス等）の加工まで幅広く実施。また、有資格者による動力プレスの特定検査にも対応。

「いいもの作ろう Make Better!」をモットーに、働きがいのある場の創出、地域社会への貢献、環境への配慮を目指し、SDGs経営を実践。